

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はぐみ吹上教室		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 7 日		～ 令和 7 年 1 月 24 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 7 日		～ 令和 7 年 1 月 24 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 1 月 31 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携が十分に取れていて、利用者やその保護者に関する情報を共有しているため、教室全体で同じ方向性、目標に向かってそれぞれの支援にあたっている。	モニタリング面談を複数名(最低でも2名)で対応し、利用者や保護者からの要望や相談を受けている。面談後すぐ(当日もしくは翌日)に職員間で情報を共有している。	全職員がモニタリング面談に対応する機会を設け、利用者や保護者と関わる機会を意図的に増やしている。その結果、児童発達支援管理責任者として個別支援計画書作成に従事することができる職員が増えるのではないかと考えている。
2	療育分野の経験者が増えた事で、その職員を中心に、利用児の具体的な支援方法や活動内容、療育プログラムを実施することができる。	療育分野の経験者が主担として、教室内の活動や療育プログラムを実施している。活動時には、全職員が活動に入り、利用児と一緒に活動することで、療育未経験者が体験しながら療育に関する知識・技能のスキルアップできるように工夫して取り組んでいる。	支援方法や活動内容、教材研究を行うために、職員ミーティングを多く設定している。(週2～3回)また、活動内容の主担を交代で行う事で、職員全体のスキルアップに努めている。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	勤務する職員の入れ替わりが多く、定着しづらい。	専門性が問われる場面が多く、未経験者にとっては不安が多いと考えられる。 また、職員数も十分に足りているとは言えない。	研修(外部・内部)の機会を増やし、療育に関する知識や技能を習得できる体制づくりが必要だと考えられる。
2	職員数が不足している訳ではないが、療育プログラム等の充実の為に、職員数を増やして確保したい。	事業所の運営方針や活動内容、従事する職員に関する情報が、十分に広まっていないと考えられる。	事業所の活動内容や雰囲気、研修の体制等をしっかりと整えると共に、それらの情報を積極的に公開していくことが必要だと考えられる。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 はぐみ吹上教室

公表日 令和 7 年 2 月 11 日

利用児童数 25

回収数 20

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2		1	少し狭さを感じている。 必要十分です。	教室内の机などのレイアウトを工夫し、 狭さを感じないように対応していきま す。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2		6	印象ですが、十分足りていると感じ られます。	療育プログラムの充実の為に、職員数の 確保に努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		3	構造はシンプルで良いです。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			2	室内でも遊べる遊具やおもちゃもあり、 工夫されています。	今後も清潔で心地よい環境を提供できる よう努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	15	4		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	18	1		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	18	2			子どもの特性が汲み取れていると 感じます。	今後も適切な個別支援計画書の作成に努 めます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	18			2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	3				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	16	2		2		
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	1	2	1	16			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	20					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	19			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	5	3	2	11		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	17	2	1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	7	5	8	保護者会は無いですがね？ 通所されている子どもさん同士のイベントは開催 して頂いていると思います。保護者の方も含めた イベントは、知らない方が多く少し気まづくなっ てしまうので交流の場を設けて欲しいという要望 は特にありません。	保護者会等の開催については、保護者様 の意見等を参考に、事業所内で方向性を 検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2	1		LINEも活用され、有難いです。	今後も引き続き、LINE等を活用し迅速かつ適切に対応するよう努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18			2	通信、楽しみにしています。	今後も引き続き、毎月の通信発行やブログの更新をし、情報発信に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			2	写真は個人が特定されぬよう、処理されている。	引き続き、個人情報の取扱いに十分に留意します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	8		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19		1		毎回楽しみにしています。帰宅後もデモンションが上がっています。	今後も引き続き、楽しく通所していただけるよう、活動内容等の工夫に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	3				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はぐみ吹上教室				公表日	令和 7 年 2 月 11 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		学習スペース、クールダウンスペース等があると良い。利用人数が多い時、活動内容によっては狭く感じることもある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2		職員の異動や退職等で、連動していた職員がいた。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	6		個別の空間を区切るのが難しい。大きく安全なパーテーションやカーテンがあるとより良い。学習スペースが必要である。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員間での話し合いの機会を多く設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	支援会議や職員間の共有で適切に検討し、作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	子どもたちに意見を求めて取り入れたり、子ども同士で相談して決める機会を作っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3		現時点で、対象になる利用者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		地域交流については、今後の検討課題である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時に、その日の過ごし方や出来事の報告をしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7		ペアレントトレーニングや家族参加型のイベントの開催についても検討していく必要がある。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	6		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月通信を作成し、ブログの更新も定期的に行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			